

規則正しい生活習慣には



- ・「学力」の向上には、「生活リズム」「健康」が大切。
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の実現を目指して。
(信夫中学校区学校保健委員会推進計画)
- ・毎日少しずつでも運動ができるように声かけを。
- ・テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう。

- ・身近な自然や生き物とふれ合うことができる環境づくり。
- ・いろいろな話ができるようなふれあい。
- ・親と共有できる（寄り添って一緒にいる）時間づくり。
- ・四季を感じることができる様々な行事への参加。
- ・子どもの知的好奇心を刺激することができるような働きかけ。

小さい時期には



- ・国語辞典、漢字辞典、図鑑等を身近に置き、すぐに調べることができる環境づくり。
- ・日本地図、世界地図、地球儀等を身近に置き、すぐに調べることができる環境づくり。
- ・無理の無い程度に新聞に、目を通すことができるような働きかけ。

学習が始まる時期になったら



ちょっとした環境作りも大切です。

子どもの学びのために

家庭学習の心得



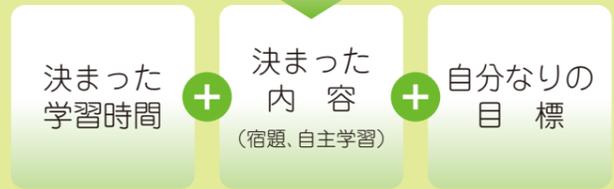
「学び」は、将来子どもが社会人として自立するためのとても重要な基礎となるものです。幼稚園、保育園、小・中学校においても、この「学び」が子ども一人一人に定着するように、日々取り組んでいます。 「家庭と連携する」ことで、より確かな定着につながります。そこで、このリーフレットを作成しました。

キーワードは、「目標」と「習慣」

どんなことも、身に付けるためには目標をしっかりと持って習慣化させることが大切です。

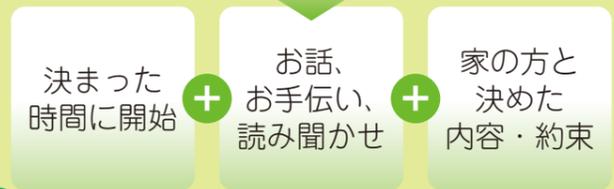
【小学校・中学校の児童生徒では】

家庭学習の習慣化



【幼稚園児・保育園児では】

家庭での学びの習慣化



何を意識付けていくの？

- 決まった時間に、毎日続ける。**
★ 家庭での学習時間「0」をつくらない。
- 決まった場所で、毎日続ける。**
★ 慣れている、落ち着ける場所が最適。ながら学習はだめ。
- 学習する内容を自分で決めて、目標とする。**
★ 園児においては、それぞれの家庭において決めた内容の約束事を目標とする。
- 大切な「答え合わせ」。**
(小学校中学年以上をめやすに)
★ 本当の勉強は、自分で答え合わせをするところから。
★ 「なぜ、間違えたのか。正しい答えは〇〇だ。どうすればその答えになるのか。」もう一度その問題を考え、正解になるまで取り組んでいく粘り強さを育てよう。

幼・保・小・中の「学び」のつながり

小さい頃からのちょっとした積み重ねが大きな学習習慣の形成につながります。

めざす子どもの姿	元気にあいさつができる子ども	話をしっかり聞くことができる子ども	しっかり学ぶことができる子ども	
			家庭学習の内容	時間のめやす
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 時と場を考えて明るくあいさつができる。 相手や場に応じて、敬語やていねい語が使える。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図や立場を考えながら聞ける。 話し合いに積極的に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題を行う。 自主学習ノートを活用し、自分の得意教科や苦手教科を意識し、課題を見つけ進んで自主学習を行う。 毎週1冊の読書をする。 	3年生：150分 2年生：90～120分 1年生：90～120分 (学年×30分+1時間)
			<ul style="list-style-type: none"> 宿題を行う。 自分の課題を見つけて進んで自主学習を行う。 毎日30分の読書する。 	6年生：1時間30分 5年生：1時間15分 (学年×15分)
			<ul style="list-style-type: none"> 宿題を行う。 自主学習を行う。 毎日15分の読書をする。 	4年生：1時間 3年生：45分 (学年×15分)
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 時と場を考えて明るくあいさつができる。 相手や場に応じて、敬語やていねい語が使える。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生や友だちの話をも自分の考えと比べながら聞ける。 話し合いに積極的に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題を行う。 保護者と一緒に本を読む。 	2年生：30分 1年生：15分 (学年×15分)
			<ul style="list-style-type: none"> 宿題を行う。 自主学習を行う。 毎日15分の読書をする。 	4年生：1時間 3年生：45分 (学年×15分)
			<ul style="list-style-type: none"> 宿題を行う。 自主学習を行う。 毎日15分の読書をする。 	4年生：1時間 3年生：45分 (学年×15分)
幼稚園 保育園	<ul style="list-style-type: none"> 元気にあいさつができる。 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える。相手を思いやる言葉遣いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生や友だちの話をも最後まで聞ける。 先生や友だちの話をも最後まで聞ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 夢中になって遊ぶようにする。 おうちの方と話したり、お手伝いをしたりする。 おうちの方と一緒に本を読む。(読み聞かせ) ※ はし、鉛筆の正しい持ち方を身に付けさせる。 	

★ 家庭学習の時間は「めやす」です。

休日や長期休業日などは、1日に勉強する回数を2回にするなどして、さらに時間を増やすことも。



大切な「家庭の働きかけ」

継続して取り組ませるためのコツは？
「コツ」と言っても、ごくごく当たり前のこと。でも「当たり前」のことが実はとても重要です。

- A 「間違い」や「できないこと」を決して責めない。**
★ 自分で頑張っていく姿を見取り、励ましていくことが大切。
- B はじめは、「一緒に取り組む。考える。」**
★ 「自分で決めなさい。」と言われても、何をどのように決めればよいのか分からなければ、決めることができません。習慣化の第一歩です。
- C できるだけ、子どもが学習したことに目を通す。**
★ 「良さを見つけて、誉める」ことを、日々の日課に。
- D 「言葉かけ」がとても重要。**
★ 「勉強しなさい！」の一言を「ぐっと我慢」して、

今日は学校でどんなことを勉強してきたの？

学校での学習や出された宿題等を思い出させることにつながります。



家庭学習の時間や内容、テレビを見る時間やお風呂に入る時間、就寝時間…、子ども自身が時間を有効に使うことにつながります。

今日はこれから、どんな過ごし方をするの？



宿題頑張ったね。こんな勉強をしているんだね！

子どもの学習に対する意欲や自信を育てることにつながります。



子どもの勉強する姿や勉強の内容に、「関心を持ち」、「認め」、「励ましの声を継続的にかける」ことが一番です。

